



**丹後繁栄の中心**

写真は昭和二年の北丹後震災から復興した本通り交差点です。

北西角は(株)丹後商工銀行でこの後合併を繰り返して京都銀行になります。元は本通りを挟んだ東側辺りにありましたが、震災後に現在地へ移転しています。

三階建てを誇る建物は和久傳で商工銀行跡の北東角に構えています。震災前は吉村商店の向かい辺りに本店があり、小西川沿いの現中江医院辺りに別館を構えていました。以後昭和四十年代に杉谷の山あいに移転し、跡地には丹後中央信用金庫の五階建てビルが建ちます。

以前の街は壊滅してしまい、復興にあたっては道路を拡幅し駅道を新設し三年後には新たな街並が整っていきます。以降の世情は戦時下へと移っていきませんが、戦後の経済成長と共に丹後ちりめん景気が街に繁栄をもたらします。

まさにこの時この場所から丹後中に大きな繁栄が広がっていく象徴的な写真です。

丹後の人と猫のつながり  を大切にするまつり

**こまねこまつり**  
mineyama komanecho festival

今年もコロナ禍が続いてしまいましたがこまねこまつりは9月頃の開催を目指し開催方法を計画中です。密集しないよう工夫をこらして皆様の励みになるようなまつりにしたいと考えています。内容詳細は決定次第お知らせしますのでお待ちくださいますようお願いいたします。

主催 こまねこまつり実行委員会  
<http://komanekofes.com>

**ことひら**

**手づくり市**

7月18日(日) 午前10時〜午後3時  
新型コロナウイルスの影響で開催できない月が多いですが、あまり賑わいすぎないようにゆづくりのおさんびりと開催してまいります。

**第3日曜日**

[konte1.jimdo.com](http://konte1.jimdo.com)

**十月十日(日)**  
**例祭 神輿渡御祭**  
**神輿輿丁募集**

**金刀比羅神社**

厳肅で清楚な  
結婚式 御祈禱

〒647-0001 宮司 脇 阪 卓 爾  
京丹後市峰山町泉二六五-1  
電話 〇七七一六二一〇二五  
FAX 〇七七一六二一五九九三

mail info@konpirasan.com  
http://www.konpirasan.com

今年の祭事は疫病禍の影響を考慮し大きく予定を変更しております。

4月9・10日 春季大祭 露店出店 宝籤 中止  
7月 9日 夏季大祭 露店出店 中止  
29日 水無月祭 (夏越しの大祓)

夜店出店 人形流し 中止  
人形(形代)の配布は行いません。  
当日「茅の輪」のみ設置予定です。

10月9・10日 例祭神輿渡御祭 執行予定  
11月 21日 新嘗祭 紅葉祭 執行予定

執行予定の祭事も状況によって変更することがあります。

# 峰山町市街地の変遷

北丹後地震前後に近い場所から撮られた写真で市街地の変遷を見ることが出来ます。

大正時代の街は震災ですべて失われますが、一年後には多くの家屋が建ち並び、三年後には町並が整っています。わずかな期間で復興していく様がよくわかります。丹後ちりめんの産業に支えられて繁栄を続け、昭和三十六年には当社鎮座百五十年の大祭で当地空前の賑わいを見せるほどの成長を遂げる事となるのです。

## 復興の希望と祈り

震災ですべてを失った当時の人々の思いは想像を絶します。しかし、後には見事に復興を果たし大変な繁栄の時期を迎えることがわかっていたら、どんなに励みになったことでしょうか。

現在の疫病災禍の状態は、過去に経験も無く将来を見通せない厳しいもので、特に人々の心身に大きな影を落としてしまっています。きっと、この先には素晴らしい未来が待っていると希望を持ち、ひたすらに祈りたいものです。



大正時代の本通り 大橋辺りから北向き 道幅も狭い



震災後の本通り交差点 西から東向き 新設された駅道を望む



大正の市街地図 <https://stroly.com/viewer/1619232769/>

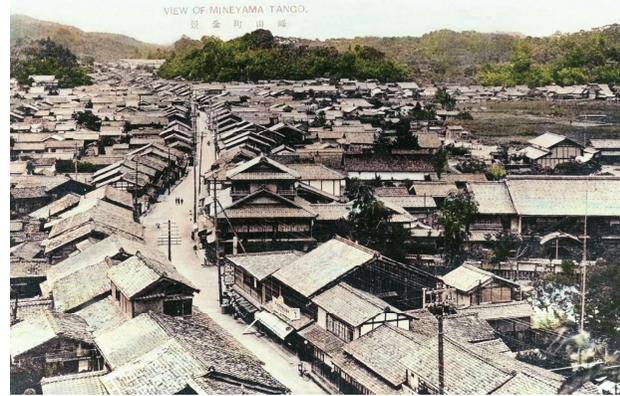
## 生まれかわった新旧の市街地

大正期の峰山町本通りはすでに丹後ちりめんの集積地として商店がぎっしりと軒を連ねる繁華街で、丹後の中心街でした。

震災ですべて無くなくなった後の復興速度は驚くべきものです。大正時代には上水道が敷かれ鉄道も開通し小西川の大規模改修も行われるなど街のインフラ整備が進められていて、このノウハウが復興に



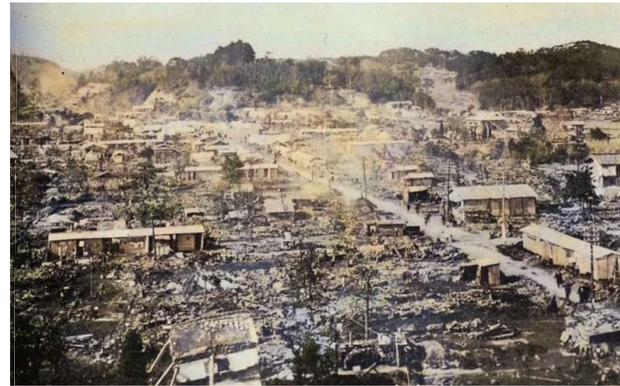
震災1年後 昭和3年 まだ神社斎館がない 「京丹後市の災害」より



大正時代 道幅は狭く杉谷辺りはまだ市街地ではない



震災3年後 昭和5・6年頃 神社斎館も竣工



昭和2年3月7日の地震直後 3月16日 「京丹後市の災害」より



震災30年後 昭和36年 鎮座150年祭春祭り



震災1・2ヶ月後 「京丹後市の災害」より

※元の写真はすべてモノクロですが彩色してわかりやすくしています



大正と現在の街歩きをしてみたいかがでしょうか。

役立てられたとされています。また復興計画には行政だけでなく町民自らが大きく関与し事業を進めていきました。その象徴の一つが駅道で、町を東西に貫く大動脈が出来、まだ農村地だった杉谷地区は一気に市街地化が進みました。大正に行ってみる

大正十四年の峰山駅開通の際に発行された町内市街地地図に、大正元年発行の「中郡一班峰山案内」に載っている多数の商店写真などを配置してウェブに公開しました。任意の地図を実際の現行地図と切り替えて見比べることができる「ストロリー」というサイトで公開しています。

## 総代就任のお知らせ

中村 雅殿  
総代を委嘱します。  
令和三年五月十日

責任役員	井上 敏 (代表総代)
錦織 隆	
松本研二 (総代兼任)	
井上五朗 (総代兼任)	
森 一彦 (総代兼任)	
増田 晋	
増田 博一	
古橋 直明	
岸本 博一	
増田 晋	
寺田 義弘	
田中 良剛	
中村 浩章	
中村 厚生	
寺田 厚生	
松崎 修	
安田 清志	
山本英雄	
岸田利道	
敬称略	
金刀比羅神社 役員名簿	
敬称略	
会長	松本研二
副会長	井上五朗 田中良剛
監事	増田晋 寺田義弘 小野甚一
地区評議員	元町区 谷口平和 山下重雄
地区委員	一 区 徳田隆男 岡崎一芳 吉岡博泰
	二 区 田中滋 池田芳昭
	三 区 萩野正博 安田清志
	四 区 稲垣晋一 吉見英次
	五 区 近藤真一 寺田泰政
	六 区 田村浩章 木崎祥緒
	七 区 小野高博 田中敏和
	八 区 由利敏雄 山本英雄
	九 区 相見浩太郎 木村成信
	十 区 富田圭介 寺田彰基
	赤川芳隆 寺田義明
	赤岩康利 寺田義明
	三木邦彦 寺田義明
	木下譲太郎 寺田義明
	小西哲夫 寺田義明
	小松鐘三郎 寺田義明
	小野甚一 中村健之
	岸田利道 中井望
	吉田伴作 中井望
	廣野勇夫 中井望
	藤本 勇 中井望
	山本喜三郎 中井望
	中山宗五郎 中井望
	西村郁生 中井望
	山本一之 中井望
	田中正紀 中井望